

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	南信州地産地消推進事業
事業主体 (連絡先)	南信州地産地消推進協議会
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	4,331,604 円 (うち支援金: 3,346,000 円)

事業内容

地産地消による地域内経済循環を高め農業振興・地域振興・観光振興等に繋げるため事業を実施
 ○食のアカデミー事業、○地産地消料理コンテスト、○生産者・実需者交流会、○地産地消推進研修会、○旅館ホテルのコンサルティング
 ○まちの八百屋システムの運用、○地産地消HPの運用、○地産地消推進チラシを作成し、みなみ信州農協DMへの折込、○地産地消認証基準の策定、○情報発信研修会○ケーブルテレビ等を活用した地産地消番組の放映



【生産者実需者交流会】

【目標・ねらい】

- ①まちの八百屋システムの確立による生産者実需者の地産地消利用促進
- ②地産地消の住民啓発
- ③地産地消による宿泊施設・飲食店の高質化とブランド化
- ④関係団体のコラボレーションによる財貨循環の相乗効果

事業効果

- ①まちの八百屋システムの導入により、試験運用に至ることができた。今後参加者を増やしていくことで、地産地消が推進される。
- ②飯田ケーブルテレビによる番組を5本制作しケーブルテレビを通じた放送に加え、HPへの掲載インターネット配信により、普及啓発ができた。
- ③生産現場における実需者・生産者交流の高い効果が確認でき、生産から流通まで実需者が視察し、地域初の農産物の流通実態を知ることが、利用促進に対する動機づけにつながる事が確認できた。
- ④地産地消推進協議会の構成団体であるJA・旅館組合・調理師会・行政等と連携し事業を実施することでお互いの活動への相乗効果が生まれた。

※自己評価【A】

【理由】

コロナ禍により感染対策を行いながら様々な事業を実行できた。各種事業により生産者と実需者相互理解を深めることにつながった。事業実施にあたっては各団体と連携を図ることができた。

今後の取り組み

- 今年度実施した事業を継続させていくことで、地産地消による地域内経済循環を推進させる。
- ①まちの八百屋システムへの参加施設を増加させ、食のレベルの高質化と生産振興につなげる。
 - ②伝統野菜をはじめとする生産現場における生産者・実需者交流を進める。
 - ③会員組織の事業協力等、食に関する事業のコラボレーションを促進して、相乗効果を発生させる。
 - ④食の認証制度の研究を引き続き行い、制度の試行につなげる。
 - ⑤南信州地域内の住民啓発を行い、地域に根付いた地産地消の取り組みに育てる。